



HOSHOKAI

青雲会

宝生の能



会場 宝生能楽堂

2026年8月26日 水

14:00開演 / 13:00開場

チケット発売日 2026年6月13日(土) 10:00

主催 青雲会、公益社団法人宝生会

※写真はイメージです



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

青雲会

令和八年八月二十六日(水) 午後二時始

素謡
半部

舞囃子
竹生島

松田 脩

大鼓 佃良太郎
小鼓 飯富孔明

太鼓 澤田晃良
笛 小野寺竜一

地謡 鶴田航己
木谷哲也
和久凜太郎

仕舞
国栖

水上 達

仕舞
籠太鼓

石塚尚寿

地謡 朝倉大輔
辰巳和磨
和久凜太郎

仕舞
雲林院
クセ

上野能寛

仕舞
昭君

金井賢郎

地謡 岩上昂平
木谷哲也
松田 脩

舞囃子
経政

山本万祐子

大鼓 佃良太郎
小鼓 飯富孔明

笛 小野寺竜一

地謡 武田伊左
葛野りさ
坂口 侑

舞囃子
松風

朝倉大輔

大鼓 佃良太郎
小鼓 飯富孔明

笛 小野寺竜一

地謡 石塚尚寿
金井賢郎
藤井秋雅
岩上昂平

《休憩》

能
卷絹

ツレ鶴田航己
シテ今井基

ワキ野口能弘

間 山本則秀

後見 宝生和英
上野能寛

大鼓 佃良太郎
小鼓 飯富孔明

太鼓 澤田晃良
笛 小野寺竜一

地謡 水上 達
岩上昂平
石塚尚寿
木谷哲也

辰巳和磨
東川尚史
田崎 甫
藤井秋雅

終演予定十七時十分頃

卷絹 — あらすじ

熊野の神社へ奉納する絹を届けるよう命じられた都の使者が、途中で立ち寄った神社の美しい梅の花に心を打たれ、一首の和歌を詠んで祈りを捧げます。そのため約束の時刻に遅れてしまい、待っていた役人に捕らえられてしまいます。ところがその時、神のお告げを伝える巫女が現れます。巫女は、使者が遅れたのは遊んでいたからではなく、神への深い信仰から和歌を奉納していたためだと語ります。そして、その和歌は神の心にも届いており、罰するべきではないと告げます。やがて巫女は神の力を受けて舞い始め、神聖で華やかな舞を通して熊野の神の御利益や威光を人々に示します。使者は許され、その場にいた人々も神のありがたさを知ることになります。この作品は、「神を敬う心」と「和歌の持つ力」をテーマにした能です。前半は物語がわかりやすく進み、後半では巫女による美しい神楽の舞が見どころとなっています。初めて能を鑑賞する方にも、神秘的な雰囲気と優雅な舞を楽しみやすい演目です。

チケット

全席自由席 2,200円

ご購入はこちら



<http://www.cnplayguide.com/hosho/>

または宝生会事務局まで
03-3811-4843
(月曜定休、10~17時)



宝生能楽堂
JR総武線 水道橋駅 東口 徒歩5分
都営三田線 水道橋駅 A1出口 徒歩1分

公益社団法人宝生会
〒113-0033 東京都文京区本郷1-5-9
TEL 03-3811-4843
FAX 03-3811-4591
営業時間 10:00~17:00
休館日 毎週月曜日、年末年始
<https://www.hosho.or.jp/>

注意事項 ●上演中の写真撮影・録画・録音は固くお断り申し上げます。●駐車場はございません。お車や自転車でのご来場はご遠慮ください。●公演情報は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

— 青雲会 —

青雲会は、宝生流若手能楽師の勉強会として始まりました。現在ではその様子をお客様に公開し、若手の技芸研鑽の場としております。会場ではアンケートをお配りしておりますので、舞台のご感想や激励のお言葉をいただけますと幸いです。これからの宝生流を担う若手へのあたたかいご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



能「卷絹」 今井 基



素謡「半部」 坂口 侑

仕舞「雲林院クセ」 上野能寛

舞囃子「竹生島」 松田 脩

仕舞「昭君」 金井賢郎

仕舞「国栖」 水上 達

舞囃子「松風」 朝倉大輔

仕舞「籠太鼓」 石塚尚寿

舞囃子「経政」 山本万祐子